

# APEX CLUB '18/11 第46号

アペックス産業株式会社

『APEX CLUB』

発行 2018年11月1日(通算46号)

発行所 アペックス産業株式会社編集委員会

〒105-0014 東京都港区芝2-23-4

電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558

ホームページ <http://www.apex-sangyo.jp>

発行人 元木 貢 (編集委員)山口力広、高塚章夫

佐々木 健

(事務局)齊藤久美

ご用命・お問い合わせ先

アペックス産業株式会社

電話 03-3455-6474

FAX 03-3455-6558

〈詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください〉

URL <http://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

## ギャラリー

### 稲城三十六景

石崎 幸治

#### ★作者略歴

石崎 幸治 (いしざき こうじ)

1947年(昭和22年)東京都生まれ。

1971年 早稲田大学商学部卒。

写真家、絵描き、随筆家、

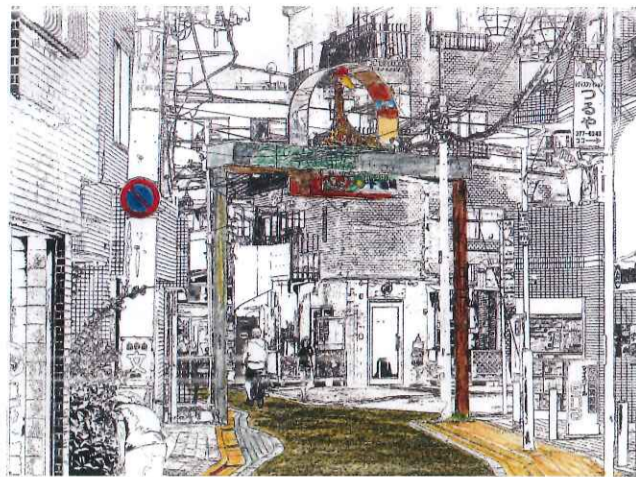
自称イラカメライター

大学卒業後、自由契約(フリーランス)のカメラマンとして独立。

写真撮影の他にイラストと取材して文章を作成する一人三役の仕事をしている。



三沢川の流と緑化



ベアリーロード稲城商店街



木曾馬



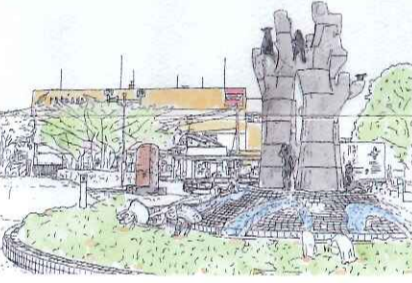
平尾団地給水塔



さんぼみち しょうぶの杜



稲城駅前広場



「稲城三十六景(インタ―メディアアリー)社発行、定価千円。」

「稲城三十六景」は、稲城市の情報発信基地。ペアテラスや若葉台の大型書店コーチャンフォーなどでも販売しています。また、アマゾンでも入手できます。興味ある方は、ご購入の上、イラストと写真をお楽しみください。

「稲城三十六景」は、稲城市の情報発信基地。ペアテラスや若葉台の大型書店コーチャンフォーなどでも販売しています。また、アマゾンでも入手できます。興味ある方は、ご購入の上、イラストと写真をお楽しみください。

\*寸言\*

稲城のタウン誌「グレイピア」に連載された十二景に二十四景を書き足して、今年の六月に「稲城三十六景」と題して出版しました。なお「稲城百景」は今年六月から連載が再開されていて、「稲城三十六景」第二集を刊行する予定です。

### アブラムシ



### おじやま虫

Q&A

Q 庭木の葉にこぶができており、小さな虫がたくさん付着しています。何でしょうか？

A 葉にこぶを作る虫は、コバエの仲間等が知られていますが、種類によってはアブラムシの仲間がこぶを作ることもあります。

Q 害はありますか？

A アブラムシの仲間は植物に寄生し吸汁して生活しており、人を刺すようなことはありません。しかし、大量発生すると宿主植物を弱らせたり、翅を持った個体が多く飛来したりという農業害虫、不快害虫としての側面もあります。

Q 対策はどうしたらいいですか？

A 発生している宿主植物が判明した場合は、農薬による薬剤処理が有効です。しかし、薬剤抵抗性を持った個体もいるため、薬剤処理には使用薬剤のローテーション等の工夫も必要です。PCO業者や造園業者に相談すると良いでしょう。



ヒゲナガハギノミ  
「世の中変わったもんだ」  
(雑木林から出て都心を眺める)



かなとこ雲  
「アクアラインから八千代市方面を望む」  
(晴天の中、雲の下は雷とゲリラ豪雨)

### むし籠

街角ウオッチング

### サバイバル

元々、趣味で行っていたキャンプでしたが、たとえば美味しい食材を買って、楽しく野外で食事をすると、何かスポーツをする、といった一般的なキャンプではなく、「味違ったキャンプをやりたい」という思いから始めたのが、「自給自足サバイバルキャンプ」でした。

持ち物は「ナイフ」「飯盒」「塩」の三つ。原則、食糧は現地で調達。ルールを自分で決め、いざ大自然へ。事前に調べた山菜も、いざ口にすると美味しいはずもなく、貴重なタンパク源である魚、虫、蛇や蛙といった生き物は簡単には捕まりません。



しかし、生き物を食材として求め、自らの血肉のために捕獲するという非日常に身を置いたときに、脳内興奮物質が分泌される感覚、こういった経験は滅多にできるものではない方、お勧め致します。己の身体一つでできる最高の体験です。  
(業務課・石井龍之介)

### 虫めがね

ペストコントロール協会 創立五十周年

昭和四十三年(一九六八年)、日本害虫防除連合会(現・公社)日本ペストコントロール協会が誕生し、ペストコントロール(害虫防除)業界の幕が開きました。

当社創業者の元木三喜男が初代理事長、社団法人化後の初代会長を務めました。現在、所属会員は九百社を超えています。当初は殺虫剤を撒くことが仕事の典型的な3Kの職業でした。

一九七〇年に資格制度が発足、一九八一年には害虫相談所を開設(東京では昨年度相談件数は八千件を超えました)。一九九九年、感染症予防衛生隊を設置(患者宅の消毒、搬送車の消毒にあたりています)。

二〇一一年の東日本大震災の防疫作業(冷凍倉庫から流された魚が腐敗、大量のハエが発生したため、全国から約九千人余りが出動し、ハエ・蚊の駆除を実施)を行いました。(写真)

そのほか、大島土砂災害、新潟市における高病原性鳥インフルエンザの車両消毒。

二〇一四年、代々木公園のデング熱国内発生では蚊の駆除。その他、行政に代わって都民の安全・安心を確保するためのさまざまな活動を行っています。

